

第5節 暮らしを支える施設の方針

(1) 基本的な考え方

市民が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、暮らしを支える公共公益施設やその他都市施設※におけるサービス機能の維持・充実を図るとともに、地域の拠点などの拠点形成に向けて、教育、医療、福祉施設などの機能が適切に確保されたまちづくりを行います。

(2) 暮らしを支える施設の方針

①公共公益施設

●拠点形成に資する施設の活用

【目標】

公共公益施設の更新や移転、新設時にあわせて、拠点形成に資する今ある資源（ストック）の有効活用、複数機能の合築や多機能化を目指します。

《方針》

- ・超高齢社会に対応した、効率的・効果的で持続可能なまちづくりの視点を踏まえて、公共公益施設の新設や移転を行う際は、今ある資源（ストック）を有効活用し、拠点形成に資する適正な機能の配置と、これと連携した交通体系の形成を図ります。
- ・既存の公共公益施設の更新の際は、地域の実情など総合的な観点を踏まえて、拠点形成の際の重要な要素となる、複数機能の合築や多機能化を検討します。
- ・公共公益施設に関する建替え計画などの情報を共有化し、複数の機能の合築や多機能化に活かします。

<具体的な取組例>

- ・周辺市町との相互利用

②その他都市施設

●その他都市施設の適正な配置と既存施設の機能維持

【目標】

安全で快適な暮らしを支えるために、新たに都市施設を整備する場合は、適正な配置に努めるとともに、既存施設の機能維持を原則として、施設の効率的な利活用を目指します。

《方針》

- ・新たにその他都市施設を配置する場合は、周辺の状況を勘案し、適正な配置に努めるとともに、あわせて、既存の施設は機能維持を原則とし、効率的な利活用を進めます。
- ・清潔で衛生的な暮らしを支えるため、整備が概ね完成している上水道、公共下水道などの機能を維持し、安全で良質な水の供給と、適切な汚水排水処理を行います。
- ・安全で快適な暮らしを支えるため、雨水排水処理は、河川改修にあわせて管渠の整備を図ります。
- ・上下水道施設やごみ処理施設などの施設を活用した、資源循環やエネルギー循環の取組みを進めます。

③計画的な施設の維持・管理

●社会基盤の長寿命化、施設の維持・管理

【目標】

道路、橋梁、上下水道や公園などの社会基盤や公共公益施設については、計画的な維持・管理により、長寿命化によるコスト縮減と日常生活サービス機能の確保を目指します。

《方針》

- ・老朽化した道路、橋梁、上下水道、公園などの社会基盤の計画的な機能維持を進めます。
- ・公共公益施設の長寿命化を図り、日常生活サービス機能の確保を図ります。
- ・「山形市公共施設等総合管理計画」[※]に基づき、公共公益施設の新設、維持管理、建替えや廃止などについて、市民ニーズの変化に対応した最適な方法を検討します。

<具体的な取組例>

- ・P F I[※]や指定管理者制度の導入拡大